

科目名	日本語文化 Japanese Language and Culture	科目コード	A0130
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	猪平 直人・堀口真利子（一般教育科）
区分・単位数	選択・2単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義30】
教科書	担当者が指示するテキスト・担当者によるプリント
補助教材	担当者によるプリント
参考書	国語辞典・古語辞典等

### 【A. 科目の概要と関連性】

授業では、現代文芸作品の講読と、古典文芸作品の古注釈の講読を通じて日本文芸全般に対する理解を深める。受講者の主体的な読解・鑑賞によって、人文学的な教養を深化させるとともに、口頭発表・レポート作成を通して、自らの考えを明快かつ論理的に発信する力を養成する。

○関連する科目：国語・文学Ⅰ（いずれも準学士課程配当科目）

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①論理的な文章作成の能力と明快な口頭発表の能力を身につける。	40%	(B1)
②古典文芸作品を読解する基本的な方法を理解する。	30%	(A1)
③現代文芸作品の描写の特質を理解する。	30%	(A1)

### 【C. 履修上の注意】

受講者による口頭発表を行い、参加者でその内容について討議する講読形式を取る。取り扱う現代文芸作品については開講時に指示する。古典の古注釈テキストは、初回授業時に教室で配布する。作品は事前に各自で通読し、必要に応じて国語辞典・古語辞典を持参すること。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（60%）
- その他（40%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	課題
1	ガイダンス（作品・テキストの確認と、概説）	作品に対する基礎的な知識
2	歌物語と古注釈（1）	古注釈の現代語訳 古典作品解釈の検討
3	歌物語と古注釈（2）	古注釈の現代語訳 古典作品解釈の検討
4	歌物語と古注釈（3）	古注釈の現代語訳 古典作品解釈の検討
5	歌物語と古注釈（4）	古注釈の現代語訳 古典作品解釈の検討
6	歌物語と古注釈（5）	古注釈の現代語訳 古典作品解釈の検討
7	歌物語と古注釈（6）	古注釈の現代語訳 古典作品 解釈の検討 レポート準備
8	歌物語と古注釈に関するまとめ	歌物語・古注釈に関するまとめ レポート提出（1）
9	現代文芸作品研究（1）	作品研究 口頭発表・討議
10	現代文芸作品研究（2）	作品研究 口頭発表・討議
11	現代文芸作品研究（3）	作品研究 口頭発表・討議
12	現代文芸作品研究（4）	作品研究 口頭発表・討議
13	現代文芸作品研究（5）	作品研究 レポート準備 口頭発表・討議
14	現代文芸作品研究（6）	作品研究 レポート準備 口頭発表・討議
15	現代文芸作品に関するまとめ	現代文芸作品のまとめ レポート提出（2）